

講義年月日 2007年4月16日(月)

講演者 加藤 好郎氏(慶應義塾大学国際センター事務長)

テーマ 2007年度(分科会2年目)にあたり再度、大学図書館の経営について

講義内容

1. 主題知識としての経営学の基礎

- ・ 経営学は企業(会社)の学問として発展するが、最近では組織論と考えられている。
- ・ 理由：企業を超えた組織、営利・非営利の組織(学校や病院)への議論の拡大。
- ・ 組織：複数の人間が共通目的を達成するために、ある仕組みのもとで活動。
- ・ システム：組織は、例えば、人間を要素とするひとつのシステムである。
- ・ テーラーの科学的管理法

課業管理：第一級の工員の仕事を動作研究と時間研究を通じて分析し、労働者に適切な仕事を割り当てる。

差別的出来高給制度：課業の完了者

- ・ アンリ・ファヨールの管理過程論

管理原則：権限と責任は一致すべき

命令の統一：単独者からの命令

- ・ 官僚制組織論(マックス・ウェーバー)

近代的官僚制の成立

人間の情実を排除することで最高の能率を発揮することのできる組織 機械観

- ・ 人間関係論

ホーソン実験：ウェスタン・エレクトリック社(米国最大の通信機メーカー)のホーソン工場で、物理的作業条件と作業能率の関係を知るため(1927年)

- ・ 現代の人間形成原理

スケールフリー・ネットワーク理論(数学理論)

2. 教科書にみる図書館経営論

- ・ 図書館経営論の必要性
- ・ 図書館の経営管理
- ・ 図書館の経営管理権の確立

3. 公共図書館の経営状況

- ・ 市区町村別の公立図書館設置率(2003)

	市	政令市	特別区	町	村
自治体	665	13	23	1,969	554
設置率	97.6%	100.0%	100.0%	46.4%	16.8%
図書館数	1,245	180	211	936	96
1館人口	56,205	112,633	38,038	15,092	6,125

- ・ 1970 年比 図書館数 3 倍、蔵書数 8 倍、貸出数 15 倍
- ・ 全国の図書館員数 49.0% 司書、15.7% 司書の館長
- ・ 人口 10 万人当りの図書館数
ドイツ 14.78 英国 7.78 米国 5.77 日本 2.16
- ・ 公共図書館資料費
2005 年 321 億 1 千万円 (13% 減)
1999 年 367 億 6 千万円
- ・ 都道府県立平均資料費
2005 年 5,250 万円 (8% 減)
2000 年 5,727 万円

4 . 図書館経営の基本原則

- ・ 図書館経営は、利用者優先
- ・ 図書館経営は、サービスの先取り
- ・ 図書館経営の基本は、利用者が必要とするサービスと情報の提供
- ・ 図書館経営には、サービスの提供に課金することも必要
- ・ 図書館経営には、費用対効果と費用対便益を常に測定
- ・ 図書館経営の目的達成には、事業の進捗状況の点検が必要
- ・ 図書館経営の改革は、そのタイミングが重要
- ・ 図書館経営の拡充は、競争から生じる協力が不可欠
- ・ 健全な図書館経営には、恒常的なマーケティングが不可欠
- ・ 図書館経営において、新しいサービスの構築には、サービスのライフサイクルを考慮
- ・ 図書館経営は、利用者、業者（書店）、図書館員との信頼に基づく有機的な連携で成
立し相互に成長
- ・ 本来、図書館経営は、多くの研究者の研究活動支援と図書館員育成を実現
- ・ 図書館経営には常に、図書館は民主主義の基本であるという概念が不可欠
- ・ 図書館学は実学であり、図書館経営は、まさに、実学の実践（世の中を良くするため
に存在）

5 . 学術情報基盤実態調査報告

	国立	公立	私立	平均
蔵書数	9200 万	1800 万	16870 万	39 万
職員数	3753 人	857 人	9160 人	19 人
資料費	61 億	15 億	222 億	4 千 2 百万
運営費	131 億	23 億	456 億	8 千 5 百万

外部委託業務 清掃、製本、警備、電算機、目録

図書館の公開 館内閲覧、複写、情報検索、

参考調査、館外貸出

6. 大学図書館の組織

- ・ 組織は、人間の協働的社會行為 2人以上の人々の協働が必要
- ・ 組織は、個々の人間の行動 特定の目的達成に向けて調整 複数の人の活動システム
- ・ アレン「組織とは人間が目的を達成するために最も効果的に協力できるように、遂行すべきことの性格を明確にし、それを編成し責任と権限を明確化して、それを委譲し相互の関係を設定する過程である」
- ・ 機能別による図書館組織：総務・TS・PS
- ・ 資料形態別による図書館組織：図書・雑誌・AV資料
- ・ 主題別による図書館組織：人文、社会、自然科学
- ・ 利用者別による図書館組織：リサーチライブラリー、ジェネラルライブラリー
- ・ 地域別による図書館組織：キャンパスごとの分館
- ・ ピラミッド型
- ・ フラット（パラレル）型：モチベーション、図書館の目的の理解、コミュニケーション、意思決定の質、サービスの質

7. 大学図書館の職員

教科書にみる館長の資質

1. 企画・計画・立案能力
2. 組織構成・職員指導・育成能力
3. 対外的折衝・交鈔能力
4. 図書館運営の信念と実践する能力

教科書にみる図書館管理職の資質

1. バランス感覚
2. フレキシビリティ
3. バイタリティ
4. 人柄の良さ
5. 仕事に対する積極性
6. 柔軟性のある態度

8. 大学図書館の管理運営

1. 人事管理

- ・ 採用基準(資格か主題か)
- ・ 人事異動・評価（専門職育成）
- ・ 就業管理(出退勤管理、チャレンジシート)
- ・ 研修計画(プロジェクト型、各種研修会)
- ・ 職員構成(専任、嘱託、業務委託、人材派遣、アルバイト、ボランティア)

2. 予算管理

- ・ 予算計上 事業計画 予算案 組織(人)

- ・ 予算執行 相見積り 効率の良い執行
 - ・ 予算内容 図書支出と図書資料費
 - ・ 決算報告 単年度決算か複数年度決算
 - ・ 資本収支と消費収支
3. 広報活動
 - ・ インフォメーション作成(ポスター、チラシ、ホームページ等)
 4. 庶務関連業務
 - ・ 文書管理(稟議書、規程、内規、各種議事録)
 - ・ 物品管理(用品費、消耗品、ブックトラック)
 - ・ 施設・安全(リスクマネジメント)
9. 慶應義塾図書館の戦略
1. 相互協力
 2. 書庫問題
 3. 蔵書構築
 4. 書誌データ整備
 5. 電子図書館
 6. 研究開発
 7. 人材育成